

## 古事記ファン必見 満開の桜と日本発祥の地を巡る旅

### 1日目

南さつま市へ

■古事記・日本書紀に出てくる“日本発祥の地”**笠沙宮跡**へ  
黒瀬海岸（別名神渡海岸）から神が上陸後、宮居を建てた場所には2つの説があります。まずは、南さつま市加世田の笠狭宮跡を探訪します。笠狭宮跡の碑や祭祀場であったとされる磐境（いわさか）の案内などがあり、桜並木が大変綺麗です。

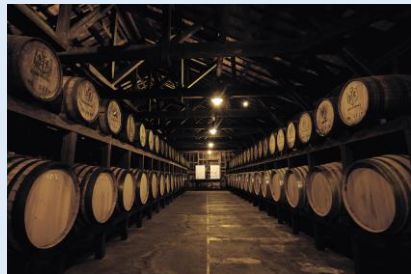
■古事記・日本書紀に出てくる“日本発祥の地”**宮ノ山遺跡**へ  
初代天皇の曾祖父にあたるニニギノミコトが、日本を統治するために天から降臨した後、この場所にやってきて宮居を建てたとされる笠狭宮跡は宮ノ山を登った先にある為、軽めのトレッキングとなります。

■神渡海岸とも言われる**黒瀬海岸**

■昼食は**がんじん荘**で新鮮な海の幸を堪能

■本土最南端のウイスキー蒸溜所“**マルス津貫蒸溜所**”見学

■**長崎鼻、玉の井**で海幸彦・山幸彦物語を楽しむ  
指宿市内に宿泊



### 2日目

なんきゅうフェリーで大隅半島へ

■桜の名所**吾平山上陵**を参拝  
吾平山上陵は、鹿児島県下の神代三山陵の一つとされており、全国でも珍しい岩屋の陵（塚墓）で神武天皇の御父君と御母君の御陵です。500mほど参道が続きます。

■昼食は、**ふくどめ小牧場**にて  
メニューは、時期により異なります。  
（写真→）





厩尾 達哉先生 鹿児島大学 法文学部 人文学科

アマテラスの孫ニギノミコトは誕生後、高天原から高千穂峯に天降り、「笠沙御前(かさのみさき)」（黒瀬海岸）に上陸し、宮野山遺跡はニギの宮居に擬せられ、同地でコノハナノサクヤビメを妻とし、海幸彦・山幸彦らが生まれたとされる。山幸彦の子ウガヤフキアヘズノミコトの子がのち初代神武天皇となる。ニギノミコトの可愛山陵(えのみささぎ)（薩摩川内市）、山幸彦の高屋山上山陵(たかやのやまのえのみささぎ)（霧島市）、ウガヤフキアヘズノミコトの吾平山上山陵(あいらのやまのえのみささぎ)（鹿屋市）は神代三陵と呼ばれている。



応援サポーター 東川 隆太郎さん かごしま探検の会 代表理事

### “南九州に受け継がれる神話の世界”

古事記や日本書紀に描かれた神話の舞台として南九州一帯には、ゆかりの名所・旧跡が点在しています。いずれも神々の物語を感じさせてくれる風景や空間が広がり、訪れる人々を別の世界に誘う「なにか」との出会いがあります。「なにか」を上手に表現できたらいいのですが、神話だけに、個々で体感し楽しむことがベストといえるかもしれません。また、偶然ながらも神話の舞台とされる地域は、美味しい食にも恵まれています。一緒に触れあうことで、「なにか」はさらに深まるかもしれませんね。